

# 人づくり石垣プロジェクト（令和7年度版）

～ 自立・つながり・支え合い、一つ一つ積み上げ未来を拓く ～

丸亀市教育大綱「自立と共生」及び丸亀市教育方針「他を想い、自らを磨き、共に伸びる」の人づくりを目指し、丸亀市の喫緊の課題である不登校児童・生徒の急増、学力の定着や自己肯定感の低下、教職員の働き方改革等の解決に向け、令和6年度から5年間を集中取組期間と位置づけ、学校・家庭・地域が連携し「人づくり石垣プロジェクト」に取り組む。

## 1. 学力づくり

### (1) 授業改善（教員の授業力の強化）

- ・校内研修の充実（思考と言語活動の充実）
- ・授業づくりサポート事業の実施
- ・若手教員サポート事業の実施（名称変更）
- ・市内外への授業視察研修の充実
- ・チーム担任制の推進（新規）

### (2) 英語教育の充実

- ・ALTの増員（各中学校2名）
- ・ALTとオンライン英会話を併用した「ハイブリッド授業」の導入
- ・英検受験補助金の創設
- ・「イングリッシュ・キャンプ」や「イングリッシュ・デイ」の実施
- ・小学校低学年や幼児教育・保育での外国語体験（ALTの派遣）

### (3) ICTの活用推進

- ・学習支援アプリの全校導入
- ・回線強化等に向けた継続的な取組の実施

### (4) 学習指導員の配置

- ・退職教員や包括連携協定に基づく大学生等の活用により「学習指導員」を配置し、児童生徒一人ひとりにあったきめ細かな対応

### (5) 学校図書館の充実

- ・電子書籍の活用を含めた図書館機能の向上を図るためのWi-Fi環境整備

### (6) 日本語指導の充実（新規）

- ・にほんご教室での指導を強化し、外国にルーツを持つ児童生徒の基礎学力を育成

## 2. 不登校対策

### (1) スクールソーシャルワーカーの増員

- ・各中学校に1名のスクールソーシャルワーカーの配置

### (2) 多様な学びの機会の保障

- ・中学校の校内サポートルームへの学習支援員の配置（居場所づくりや学びの保障）
- ・オンライン等を活用した授業配信や相談活動などの実施

### (3) 教育支援センター「友遊」での支援の充実

- ・個に応じた支援の充実により自立に向けた支援を強化

### (4) 関係機関と連携した重層的支援

- ・福祉部門や医療機関、教育関係団体など多様な主体と連携した不登校児童生徒に対する支援の実施

### (5) チーム担任制の推進（新規、再掲）

## 3. ふるさと教育

### (1) ふるさと授業の実施

- ・丸亀の人・もの・ことにふれ、本物に出合う授業や行事、活動などを各小中学校で実施

### (2) 文化財めぐり

- ・小学校6年と中学校1年の校外学習等で丸亀市の貴重な歴史的資源（文化財）を訪問し、ふるさとの歴史や文化を体感

### (3) ふるさとでの芸術体験

- ・小学校3年生を対象とした「MIMOCA訪問」を継続して実施
- ・小学校5年生を対象とし、地元アーティストによる舞台芸術をホールで鑑賞

### (4) ふるさとの企業PR

- ・中学校2年生を対象とした「地元企業PR事業」を継続して実施

## 4. 地域との連携

### (1) 学校運営協議会の充実

### (2) 地域学校協働活動の充実

### (3) 部活動の地域移行

- ・地域人材の活用による休日の部活動の地域移行を推進

## 5. 教職員の働き方改革

### (1) 小学校への教員業務支援員（スクールサポートスタッフ）の配置

- ・市内小学校に教員業務支援員を配置し教員が児童生徒に向き合う時間の確保

### (2) 小学校の教科担任制の推進

### (3) 健康観察アプリの本格導入

- ・教職員や児童生徒の心の健康状態を確認するため「健康観察アプリ」を全小中学校に導入

### (4) テスト採点ソフトの導入

- ・業務のデジタル化に向けテストの採点にソフトを導入し教員の負担を軽減

### (5) 総務事務システムの導入

- ・県下統一のサービス管理システムを導入し事務の効率を図る

### (6) 年間授業時数の見直し

- ・年間授業日数の削減、週あたりの授業時数の縮減、長期休業明けの午前授業

### (7) 部活動の地域移行（再掲）

### (8) チーム担任制の推進（新規、再掲）